



2017年5月8日

## SUPER GT 第2戦、2台のAudi R8 LMSは粘り強く共に完走

- ・ Audi Team Hitotsuyama は予選 13 位、決勝は粘り強く走り続け 14 位に
- ・ Team TAISAN SARD は予選 26 位から追い上げ、21 位完走でレースを終える

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。5月3日（水）、5月4日（木）、富士スピードウェイ（静岡県 1周4,563m）で2017 AUTOBACS SUPER GT 第2戦となる「FUJI GT 500km RACE」が開催されました。

今大会には、新型 Audi R8 LMS を擁する#21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN SARD（チーム タイサン サード）の2チームが参戦。ゴールデンウィーク中の開催ということもあり、また両日とも好天に恵まれ、予選 34,100 人、決勝 58,000 人、延べ 92,100 人もの大観衆が富士スピードウェイを訪れました。

Audi Team Hitotsuyama は、今シーズンよりリチャード ライアン選手に加えて、昨年までトップカテゴリーの GT500 クラスに参戦し、GT300 クラスはもとより GT500 クラスでもチャンピオン経験をもつ柳田 真孝選手が加入しています。予選ではタイヤの選択に苦労しながらも、リチャード ライアン選手が Q1 をクリアし Q2 へ進出、最終的に予選 13 位を獲得。決勝レースも快晴のもと、14 時 10 分にドライコンディションでスタートしました。気温の上昇を見越してハードタイヤを選択し、第 1 スティントはリチャード ライアン選手が担当します。タイヤをいたわりながら冷静に 37 周を走り切り、第 2 スティントの柳田選手へとドライバー交替します。柳田選手は気温が落ち着いてきた後半にさすがの速さをみせるなど安定して 36 周をラップし、最終スティントをリチャード ライアン選手に託します。ソフトタイヤを選択した最終スティントではリチャード ライアン選手は、最終ラップ直前まで自己ベストを叩き出す気合の走りをみせ、一度は落ちた順位を 14 位まであげレースを終えました。

一方 Audi R8 LMS で 2 年目の参戦となる Team TAISAN SARD は、今シーズンより昨年の GT500 クラスのチャンピオンチームである SARD の野田 英樹監督をチームへ招聘。さらにドライバーラインナップも山田 真之亮選手とジェイク パーソン選手という共に 20 代の若手コンビでの挑戦となります。予選はマイナートラブルをリカバーしきれず、26 位で終わりました。決勝の第 1 スティントは山田 真之亮選手が担当。前半、順調にラップを重ねるもタイヤトラブルに見舞われ緊急ピットイン。これにより周回遅れとなってしまいました。第 2 スティントは、ジェイク パーソン選手へとドライバー交替。想定より早いドライバー交替により 42 周を走行しましたが、安定したラップで時おり上位に匹敵するタイムを刻み、今年 SUPER GT 初参戦ながらも可能性を感じさせる速さをみせました。そして最終スティントはふたたび山田 真之亮選手がドライブ。後半は順調にラップタイムをあげ、21 位で完走を果たしました。

### Audi Team Hitotsuyama 一ツ山亮次チーム代表のコメント

「レースでは予選、そして決勝の天候や 500km という長いレース距離を見越してレース毎にタイヤの選択を行います。今回は第 1 スティントのリチャード選手、第 2 スティントの柳田選手ともにハードタイヤで走行したのですが、想定した気温とうまく合わずタイムが伸び悩みました。最終スティントは柳田選手の助言もあり、また今後のテストも兼ねてソフトタイヤで走行したのですが、その戦略がうまくはまりタイム的にもトップチームと遜色ない戦闘力があることがわかりました。チームのムードも良好ですし、最終スティントの勢いを継続して、2 週間後に控えた次戦ではかならず挽回したいと思います」

### リチャード ライアン選手のコメント

「いくつかの小さなトラブルによって、予選では順位をあげることができませんでした。決勝の最終スティントでは次につながるようないい走りをしたという思いから、ひたすらプッシュし続けました。最終ラップ直前までベストタイムを更新できましたが、改善の余地はあるし、まだまだその性能には満足していません。新型 Audi R8 LMS にはもっと速く走ることができるポテンシャルがあると感じています。次のオートポリスは昨年の震災で走れなかったサーキットだけに、またレースをできることがうれしいですし、Audi R8 LMS にとっても相性のよいテクニカルなコースなのでぜひ期待しててください」

### 柳田 真孝選手のコメント

「クルマのバランスはすごくいいのですが、今回は選択したハードタイヤのグリップ力が低くてそれをうまく使いきれませんでした。結果としてリチャード選手が最終スティントで選んだソフトタイヤが良かったのですが、その選択ミスで大きなタイムロスに繋がってしまったことが本当に悔やまれます。ただいいデータが取れたと思いますので、チームとタイヤメーカーと一緒に、さらにコミュニケーションをとって、挑戦していきたい。いまの SUPER GT はすごい開発合戦が行われていて、もっともっとチャレンジしていかないと勝てない。この富士では、これまで以上にチームやアウディのファンがたくさんいてくださることを感じましたし、次も大好きなサーキットです。チャンピオン争いのためにも死ぬ気で頑張ります」

### Team TAISAN SARD 野田 英樹チーム監督のコメント

「今週はフリー走行、予選、決勝とすべてでトラブルがでて、悪い流れを断ちきれないまま残念な結果となってしまいました。皆様の期待に応えられずに申し訳ない気持ちです。ただマシンのセットアップ自体は少しずつ良くなってきていますし、レース中のラップタイムも安定してきており、Audi R8 LMS のポテンシャルの高さは十分に感じています。ただ、ドライバー2人はまだ若く経験が浅いだけに、現状で勝ちを狙えるほどこのレースは甘いものではありませんし、チーム全体として強くしていかなければいけないと思っています。オートポリスはさらに上を目指していきますので応援をお願いします」

### 山田 真之亮選手のコメント

「マシンの状態は悪くなかったのですが、予選も決勝でも経験不足によるミスをしてしまい、残念な結果になってしまいました。ただし、周回遅れになっても、そのままトップチームについていけるレースペースで走り続けられましたし、今回のような気温であればさらに柔らかいタイヤが使えるさうだというデータも得ることができました。オートポリスは一昨年の FIA-F4 で優勝した、とても相性がいいサーキットでもありますし、今日のミスはオートポリスで必ずとりかえたいと思います」

### ジェイク パーソン選手のコメント

「今週は富士スピードウェイということもあり、たくさんのファンがきてくれてとてもエキサイティングなレースでした。今回のレースはタイヤの選択が難しくラップタイムはそれほどよくありませんでしたが、Audi R8 LMS はハイスピードセクションで安定しているし、直線でも速い。次のオートポリスは初めて走るトラックですが、しっかりと事前に研究してレースに臨みたいと思います」

SUPER GT 第3戦は5月20日（土）～21日（日）、九州のオートポリス・サーキットにて開催予定です。

アウディは、「Audi Sport (アウディ スポーツ)」の主導のもと、2016/2017 シーズンから電気自動車による FIA フォーミュラEレーシング シリーズに本格参戦しています。また Audi RS 5 DTM で DTM (ドイツツーリングカー選手権) に参戦。さらに、カスタマーモータースポーツとしては GT3 レースカー Audi R8 LMS や Audi RS 3 LMS を世界中のプライベートチームに供給するなど、モータースポーツ活動全般を支援しています。現在、Audi Sport を、アウディのスポーティなブランドイメージをより一層強調するサブブランドとしてグローバルで展開しており、日本国内でもコミュニケーション拠点 Audi Sport 店を全国 26 店舗オープンしております。